



外来植物除去作戦



奥日光にはホザキシモツケやヤナギランといった貴重な植物が多く自生しています。しかし近年では、繁殖力の強い外来植物によって、生態系が破壊される恐れが指摘されています。

8月12日(土)、日光湯元スキー場でオオハンゴンソウなどの外来植物の除去が行われました。これは、奥日光の貴重な在来植物の生態系を、繁殖力の強い外来植物から守るために毎年実施されているもので、今年は300人が参加しました。

オオハンゴンソウは北アメリカを原産とするキク科の植物で、8月ごろ黄色い花をつけます。市内でもよく見かける植物ですが、本来は日本にはなく明治時代に園芸植物として導入されたものが、広く繁殖して野生化したものです。

参加者は鎌などを使って頑丈な根を掘りおこし、また、一緒に咲く山草を間違えて抜かないように、慎重にオオハンゴンソウを除去していました。



参加者たちによって抜き取られた草は1トンにもなりました。

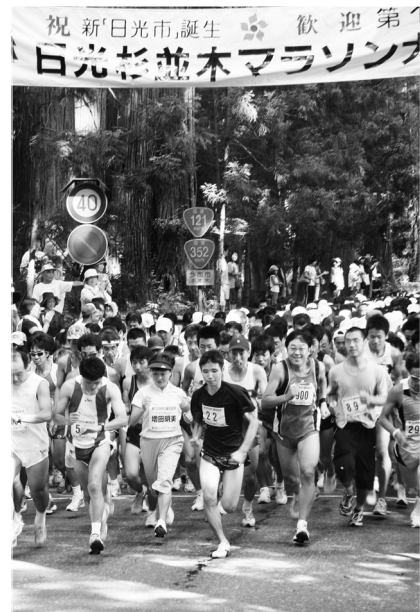
フォトダイアリー

8月6日(日)、第1回日光杉並木マラソン大会が開催されました。これは、旧今市市の杉並木マラソンと旧藤原町の龍王マラソンを一つにして新たに開催されたもので、全国から2千677人の参加者がありました。



上:「もう少し、がんばれ!」
下:レース終了後に行われた増田明美トークショー

い、走り方の指導をするなど大会を盛り上げていました。



日光杉並木マラソン大会

陰の中を走りました。大会のゲストとして招かれた元オリンピック代表の増田明美さんも夫婦で10kmコースに参加。レース後にはトークショーを行いました。

8月6日(日)、爽やかな夏の青空の下、上三依水生植物園と上三依自治公民館を会場に、水と花と風のフェアが行われました。



炎のパフォーマンスに驚き。

多くの釣りが参加してました。

水と花と風のフェア



enichi氏によるマジカルパフォーマンスが行われ、軽妙なトークと繰り出される技の数々に来場者は目を奪われていました。また、会場では地元野菜の即売が行われたほか、手打ちそばやその場でついた餅、珍しいシカ鍋なども食べることができ、みんな舌鼓を打っていました。

ジャズ 鎮守の森JAZZコンサート

7月30日(日)、下板橋の三光神社で行われました。地元の有志が町おこしのために結成した「たがやす会」の企画によるもので、参加者たちは静かな森に囲まれた境内で演奏をゆっくり楽しんでいました。

